

安全データシート

改訂日:2022年9月9日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

n-ヘキシルアルコール
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
FD0063

整理番号

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
物理化学的危険性
健康に対する有害性

引火性液体:区分3
皮膚腐食性/刺激性:区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分2A
水生環境有害性 短期(急性):区分3
水生環境有害性 長期(慢性):区分3

環境に対する有害性

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
引火性液体及び蒸気
皮膚刺激
強い眼刺激
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害
【安全対策】
熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること。一禁煙。
容器を密閉しておくこと。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。
火災を発生しない工具を使用すること。
容器および受器を接地すること。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
【応急措置】
皮膚又は毛に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
火災の場合、適切な消火方法を使用すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。
皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
【保管】
容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
情報なし

注意書き

他の危険有害性

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名
慣用名又は別名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
濃度又は濃度範囲
官報公示整理番号(化審法・安衛法)
その他

化学物質
n-ヘキシルアルコール
1-ヘキサノール, ヘキサン - 1 - オール, ペンチルカルビノール
 $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_5\text{OH}$
CAS RN 111-27-3
99%以上
(2)-217
HSコード:2905.19

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。
多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

眼に入った場合	汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 直ちに医師の診断を受けること。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水、水噴霧
火災時の特有の危険有害性	極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。 消火後再び発火するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移さない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 環境中に放出してはならない。 危険でなければ漏れを止める すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 眼、皮膚との接触を避けること。 飲み込みを避けること。
安全取扱い注意事項	『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避	
衛生対策	
保管	
安全な保管条件	消防法の規制に従う。 容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管する。 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
安全な容器包装材料	
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色
臭い	穏やかな芳香
融点/凝固点	-46.7℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	157℃
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	1.2 ～ 7.7vol%
引火点	63℃
自然発火点	304℃
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	7.9 g/L (0℃), 6.0 g/L (25℃), 5.1 g/L(50℃):
n-オクタノール/水分配係数	logPow=2.03
蒸気圧	10 Pa (5℃), 100 Pa (28℃), 1 kPa (56.8℃), 10 kPa (97.3℃)

密度及び/又は相対密度	0.8136 g/cm ³
相対ガス密度	3.5 (空気=1)
粒子特性	データなし
10. 安定性及び反応性	
反応性	情報なし。
化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	63°C以上では、蒸気、空気の爆発性混合気体を生じることがある。 強力な酸化剤と反応する。
避けるべき条件	裸火
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素
11. 有害性情報	
急性毒性	経口：ラットのLD ₅₀ のうち区分4に該当するデータが1件(LD ₅₀ =1800 mg/kg (male), 720 mg/kg (female));(DFGOT vol. 9,(1998))、区分外に該当するデータが4件(LD ₅₀ =4000 mg/kg, 4590 mg/kg, 4870 mg/kg, 7080 mg/kg; (DFGOT vol. 9,(1998))であったことから、区分外とした。 経皮：ウサギにおいてLD ₅₀ =2538 mg/kg (DFGOT vol. 9, 1998; PATTY 5th, 2001)の値を得ていることからJIS分類基準の区分外(国連分類の区分5)とした。 吸入：ラットの8時間吸入試験において20°Cでの飽和蒸気圧濃度(約5.6 mg/L)(蒸気)(4時間換算値: 約8 mg/L)において「致死性なし(not lethal)」(DFGOT vol. 9, 1998)の結果を得ているが、これだけでは判断できず、データ不足により分類できない。 吸入：ラットの1時間吸入試験においてLC ₅₀ >21 mg/L(4時間換算値:LC ₅₀ >10.5 (ミスト) mg/L, IUCLID 2000)の結果を得ていることから区分外とした。
皮膚腐食性/刺激性	ヒトのパッチテストにおいて4時間以上の暴露により陽性対照と比較して非常に低い刺激性を示した(PATTY(5th, 2001)。ウサギのOECD TG 404に準拠した試験において「中等度の刺激性」を示したこと(IUCLID (2000))、また投与量や投与期間は不明ではあるが、「中等度の刺激性(DFGOT vol. 9(1998))」や「紅斑、およびグレード1に似た浮腫(DFGOT vol. 9(1998))」を示したことから区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギの試験において滴下後72時間における平均スコア値が角膜混濁; 2, 虹彩炎; 1.25, 結膜発赤; 2.5, 結膜浮腫; 2.5であり、21日後には完全に回復している(ECETOC TR. 48(1998))。またウサギを用いた試験(OECD TG 405)においてModerateとされ(IUCLID(2000))、また、他のウサギを用いた試験において5 %溶液で重度な眼のびらん、および1 %溶液において重度の刺激性としていることから(DFGOT vol. 9, 1998)、区分2Aとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器：データなし。 皮膚：ヒトにおけるパッチテストおよびモルモットへの皮膚感作試験(Magnusson and Kligman法)において感作性を示さないとの記述があることから(DFGOT vol. 9, 1998)、区分外とした。
生殖細胞変異原性	in vivo変異原性試験のデータがないことより分類できないとした(DFGOT vol.2(1998)、IUCLID(2000))。
発がん性	データなし。
生殖毒性	発生毒性について、ラットの器官形成期の経口投与により、親動物に臨床的症状および体重低下が見られたが、胚毒性および催奇形性は認められなかった(PATTY 5th, 2001)、しかし親動物の性機能、生殖能に関するデータがないことから、データ不足により分類できないとした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットの強制経口試験において440 mg/kg(雄)、90 mg/kg(雌)の用量において腎皮質が混濁腫脹を伴ったうっ血とあるが(DFGOT vol. 2, 1998)、詳細なデータがなく、分類できないとした。なお、ラット、マウス、モルモットを用いた吸入試験およびウサギを用いた皮膚試験は混合物を用いており、吸入試験において呼吸器刺激性が見られるが、純度が44%(44 % 1-hexanol, 53 % methyl-1-pentanol)なので評価には使用しなかった。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの混餌による3週間試験(PATTY 5th(2001))のガイダンスの範囲値を超える330mg/kg bw(90日換算)の用量で血中脂質の変化など軽微な変化以外に影響は見られず、またラットの混餌による13週間の試験(IUCLID(2000))のNOAELは250mg/kg bw、LOAELは500mg/kg bwで、いずれもガイダンス値を超える用量であることから区分外(経口)に該当するが、他経路でのデータがなくデータ不足で分類できないとした。
誤えん有害性	ラットの試験において「0.2mlの誤嚥により10匹中10匹が即座に呼吸停止によって死亡した」の記述(PATTY 5th, 2001; IUCLID, 2000)があるが、データが古く区分外(国連分類の区分2)とするには十分ではないので分類できないとした。
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期：魚類(ファットヘッドミノー)の96時間LC ₅₀ が97.7mg/L(AQUIRE, 2008)であることから区分3とした。 長期：急性毒性が区分3、信頼性のある急速分解性データが得られていないことから、区分3とした。
残留性・分解性	良分解性
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

空容器の処理を依頼する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号

2282

品名(国連輸送名)

Hexanols

国連分類

3

副次危険性

—

容器等級

III

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送

消防法の規制に従う。

海上輸送

船舶安全法の規制に従う。

航空輸送

航空法の規制に従う。

応急措置指針番号

129

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

指定化学物質に該当しない。

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物に該当しない。

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物〔1-ヘキサノール〕
〔施行令別表9〕(2026年(令和8年4月1日)以降)
危険性又は有害性を調査すべき物〔1-ヘキサノール〕
(2026年(令和8年4月1日)以降)

消防法

危険物・引火性の物

海洋汚染防止法

第4類引火性液体第2石油類非水溶性液体

船舶安全法

有害液体物質(Y類)

航空法

引火性液体類

引火性液体

16. その他の情報

参考文献

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)

職場のあんぜんサイト(厚労省HP)

NITE-GHS分類結果(製品評価技術基盤機構HP)

国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所HP)

The Sigma-Aldrich Library of REGULATORY and Safety Data

The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。